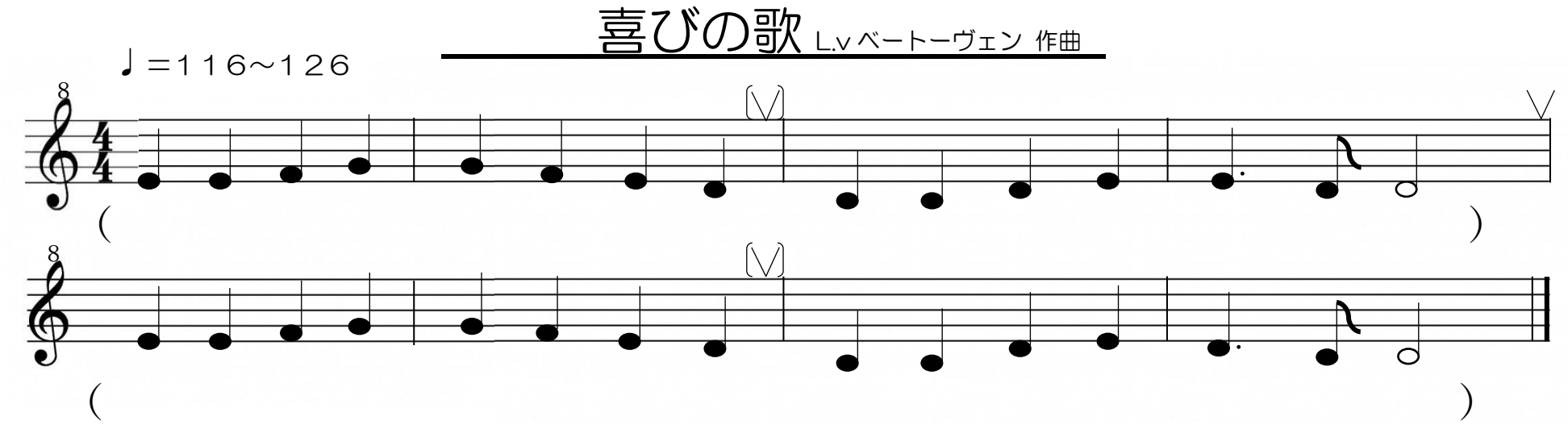
１年　音楽の課題　５月２５日～（５月２８日の登校日に鑑賞のプリントと、ミニテスト２・３を持ってくること。
リコーダーのプリント２枚は、新学期まで練習のために使い、初回の授業に持ってくること）

器楽の教科書 喜びのうた ｐ８上	①下の楽譜の（　　）内に、適切な強弱記号を書き入れる（音が上がる時はだんだん大きく、下がる時はだんだん小さくなど、吹きながら確認して、自然な強弱記号を書き入れる。）	○アルトリコーダーでは吹けない人は、強弱を加えて（書き入れて）から、ソプラノリコーダーの指と照らし合わせながら、練習しておきましょう。	○授業中電子ミニキーボードで音を確認していきます。 ○６月以降にリコーダーテストを１人ずつ録音し、姿勢や音のポイントを追加指導していきます。



音楽の教科書１ ｐ68-69 マイバラード 校歌 （学校ＨＰの学校紹介の校歌・校章ページ参照）	②５月１４日に配った「喜びの歌に挑戦」（リコーダーの）プリントをレベル MAX まで上げていき、上記の強弱を加えて練習をして、いつでも録音が録れる状態まで仕上げる。 ③校歌、マイバラードを毎日朝・夕１回ずつ歌って、歌詞を覚える。（校歌は３番を重点的に、マイバラードは全て暗譜で歌えるようにする。）	○歌う（吹く）時間帯はあまり遅い時間にならないように、気をつけましょう！（参照演奏は特設合唱部、吹奏楽部です。）	○今週はミニテストを出しませんので、初回の授業では、強弱記号を記入したこのページと、リコーダーのプリント２枚、計３枚を提出してください。

♪ マイバラード　素敵な感想をご紹介　♪

＜１年１組＞

伊藤 心美 さん

・今はコロナウィルスで大変な人たちがいっぱいいるので、皆で歌うことは出来ないけれど、誰かが１人でもいいので愛を届ければ、きっと皆がこの状況を乗り越えられると思いました。そして、１人でため込まずに、歌詞には「みんな」という言葉がたくさんあるので、皆で伝え合うことが大切だと感じました。

早川 和希 くん

・僕は両親に叱られて、イライラしていた。弟もその姿を見ていた。

そして翌日、僕の机の横の落書きを母が発見した。（…）弟に聞くと、「和希がニコニコしてほしいから描いたんだ！」（…）と答えた。いつもだったら弟を叱りそうだが、僕は弟からの『メッセージ』なのでは？と思った。それはまるでバンクシーのようだった。

星加 奈穂子 さん

・歌詞の「みんなで」のように、皆でこまめに手洗いうがいをしたり、身近なものを消毒したり等、皆で少しのことをやっただけで、何十倍、何千倍にもなります。すると、いつか「みんなで」コロナウィルスを乗り越える事が出来るはずです。

眞壁 唯 さん

・感染してしまった人の命を守ろうと働いている人たちがいる。その人を心配している人もたくさんいる。私はそうやってがんばって人たちに「愛のメッセージ」を届けたらいいと思います。

コロナにかかったら最悪のことも考えられる。かかるかもしれない所で人の命を救うためがんばっている人がいる。二度と会えなくなるかもしれないから、家族や大切な人に「愛のメッセージ」を届けてあげたい。（…）コロナの影響で、つらい日々、悲しい日々を送っているけれど、「きっと君のもとへ」、離れていても、感謝の気持ちなど伝えたいことは、きっと届く。世界中どこにいても、必ず届く。そんなことを意味していると私は思います。

楊井 こころ さん

・「心を１つにして」という歌詞は、コロナウィルスに勝つために、誰かがやってくれるという考えではなくて、自分がやらなきゃいけないんだという考えに世界中の人々がなれば、その歌詞通りの世界になるんじゃないかなと思った。（…）手洗い、うがいをこまめにすることを徹底すれば、直接ではないが、結果という数値になって届けることができるのかなと考えた。

また「きらめけ世界中に」という歌詞は、私たち一人ひとりが頑張った結果として表れてくる成果だと考えた。

＜１年２組＞

豊田 芭菜 さん

・届け愛のメッセージという言葉の意味は、みんなで過ごした思い出だと思います。（…）一緒に過ごした思い出はずっと自分の心の中にあります。そのステキな思い出を自分だけのものにせず、マイバラードの歌にのせて、別れてしまった友達に送ろうとしている。それが届け愛のメッセージだと、私は考えました。

宮内　萌木 さん

・「心燃える歌が…」からどんどん盛り上げて、「きらめけ世界中に」を開けたようにのびやかに歌いたい。

「愛のメッセージ」とは、大切な人に向けて皆が思っているメッセージだと思う。それはコロナウィルスに感染しないでほしいという願い。皆でこの困難を乗り越えていこう。そう勇気づけてくれる歌だなぁと思った。

＜１年３組＞

狩野 あすか さん

・皆がそれぞれ違う場所で歌っても、その歌は皆に届くと思う。逆に皆が歌った歌も私に届くと思いました。これこそが離れていても実現できる「愛のメッセージ」だと私は思いました。

矢野 良亮 さん

・「仲間がここにいるよ」というところを見て、自分だけが不安な思いをしているのではなく、友達も大変な思いをしている。このことに気づいた。（…）家で外出を我慢している人もいれば、病院、スーパー、郵便局など人と接する所で大変な思いをし、仲間と助け合いながら働いている人もいる。（…）不安な思いをしている人達に感謝の気持ちを伝えなければいけない。（…）「愛のメッセージ」は「仲間がどんな時でもいる」という気持ちと、「苦しい時に働いている人への感謝」の言葉につながると感じた。

＜１年４組＞

山内 萌瑛 さん

・世界中が元気になるように愛のメッセージを届けようとしているのかなと思いました。そして今の現状で皆元気が無くなってしまっているので、世界中に元気を与えてくれるように感じました。（…）「心燃える歌が 歌が」

の「歌が」が２回繰り返されているので、２回目の「歌が」を１回目の「歌が」よりも少し強く歌いたいです。

＜１年５組＞

脇坂 空良 くん

・この歌は、皆で力を合わせていこうということが込められていると思いました。（…）皆で力を合わせることでコロナウィルスを少しでも抑えることが出来たりする。今生きていることは、たくさんの人と助け合って生きているから今がある のだと思います。（…）みんなで力を合わせれば、出来ないことはないと思います。

今あるコロナ問題の現状と歌詞を照らし合わせて感想をまとめていたり、歌詞や強弱などからどのように歌うかを具体的に書けていたりするところが、とても素晴らしいです！まだ、提出していない皆さんも参考にしてみて下さい！皆で「心を１つにして」マイバラードを歌える時を楽しみにしています♪